

国際ロータリー第2820地区

古河ロータリークラブ週報

18



2024-2025 間下年度 クラブテーマ

先人たちの想いを胸に、 価値ある団体として活動しよう



国際ロータリー加盟認証状伝達式 1967年11月5日

2024-2025年度
国際ロータリー会長
ステファニー A. アーチック 会長



2024-2025年度
国際ロータリー第2820地区
大高 司郎 ガバナー



2024-2025年度
古河ロータリークラブ
間下 保 会長(第59代)



〈テーマ〉

〈地区スローガン〉
BE THE INSPIRATION
“元気な一歩、共に成長するクラブの力”

古河ロータリークラブ

■設立：1966年(昭和41年)7月7日
スポンサークラブ
土浦南ロータリークラブ
初代会長 井上 延太郎
幹 事 岩崎 清
■事務所：〒306-0037
古河市錦町7-15 伏木商店内
TEL 0280-22-0374
FAX 0280-22-3622
e-mail:woody@fusegi.jp

■幹 事：伏木 利光
■会員数：正会員50名
■例会場：(古河商工会議所3階)
(〒306-0041 古河市鴻巣1189-4)
(TEL 0280-48-6000)
■例会日：毎週金曜日(第5金曜日は無し)
12:30~13:30
■発行：会報・雑誌委員会 委員長 相良 登
e-mail:sagara.noboru@ito-unyu.co.jp
■公式HP：<https://koga-rotary.org/>

第2757回例会 2024年11月15日(金)

本日の例会プログラム

○卓話「これからの会員増強
パート2」
古河東ロータリークラブ
地区出向委員 佐谷 道浩 様

次回例会プログラム

11月22日(金) 12:30~13:30
○卓話「古河市国際交流協会の
活動を学ぶ」
国際交流協会
会長 神山 裕一 様

第2756回 移動例会 2024-25年度 地区大会「輝こうロータリーと共に 2820」
2024年11月10日 於)日立市 池の川さくらアリーナ **ホストクラブ 高萩ロータリークラブ**

5:15 ポンヌカリテ集合・出発
(7:30) 池の川さくらアリーナ到着



9:00 点鐘



8:00 登録開始



国歌斉唱 タイ王国国歌
フィリピン共和国国歌
ネパール国国歌
日本国国歌「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」

メッセージ

国際ロータリー
ステファニー A.アーチック会長



11:08 ★RI表彰

「ロータリー賞」 受賞 古河 RC

★地区表彰

「ガバナー特別賞
会員増強スタートダッシュ賞
(5名以上純増)」 受賞 古河 RC



13:20 大懇親会



12:00 記念講演

「サラリーマンの大逆転
～箱根駅伝優勝までの道のり～」

青山学院大学

陸上競技部 監督

地球社会共生学部 教授 原 晋 氏



(16:30) 野村利夫パスト会長 ご挨拶



(18:00) 懇親会 於)ボンヌカリテ



副幹事・会計・地区外向 熊木 善一 委員長

皆様、早朝より大変お疲れさまでした。間下保会長と伏木利光幹事は2日間、他会員の皆様には、早朝から茨城県の北の方、日立の地に事故等無くお集まりいただき大変お疲れ様でした。又、バスを利用し

参加された会員各位様、早朝5:15に遅滞なくお集まりいただき予定通り出発、予定通り会場に余裕を持って到着できましたこと、又、問題なく大会終了後古河到着できましたこと、皆様にご協力いただき厚く御礼申し上げます。今後ともよろしくお願ひいたします。

2025-26年度地区大会は、「新しい出会いと感動を!!」をテーマに2025年11月15日(土)・16日(日) ノバホールで開催されます。ホストクラブは、水海道ロータリークラブです。皆さんご参加よろしくお願ひいたします。



「SDGs」17の目標と取り組み

目標11:住み続けられるまちづくりを

ゴール:包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する

ターゲット

- 1 住宅や基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する
- 2 交通の安全性改善により、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する
- 3 参加型・包摂的・持続可能な人間居住計画・管理能力を強化する
- 4 世界文化遺産・自然遺産を保護・保全する
- 5 災害による死者数、被害者数、直接的経済損失を減らす
- 6 大気や廃棄物を管理し、都市の環境への悪影響を減らす
- 7 緑地や公共スペースへのアクセスを提供する

実施手段

- a 都市部、都市周辺部、農村部門の良好なつながりを支援する
- b 総合的な災害リスク管理を策定し、実施する
- c 後発開発途上国における持続可能で強靱な建造物の整備を支援する